

種雄牛造成強化事業

農林水産部畜産課

1 事業の目的

「しまね和牛」の生産拡大を図るため、主要産地レベルの生産力を獲得し、若い世代にとって魅力ある収益性の高い肉用牛経営環境を実現する必要がある。

全国の主要産地等の優良な遺伝資源を活用し、市場価格をリードするスーパー種雄牛を早期に造成することにより、肉用牛産地として躍進を図る。

2 事業内容

(1) 超優秀雌牛の導入・・・12,600 千円

全国の主要産地から超優秀雌牛および高能力受精卵の導入を支援

- 1) 事業主体：JA 等
- 2) ①超優秀雌牛頭数：6 頭
②高能力受精卵個数：18 個
- 3) 補助率：1/2 以内（①上限 180 万円/頭、②上限 10 万円/個）

(2) 後代検定価格補償対策・・・18,273 千円

能力の判明していない新規種雄牛の能力評価を円滑かつ正確に行うため、後代検定に係る「とも補償制度」の充実を図る。

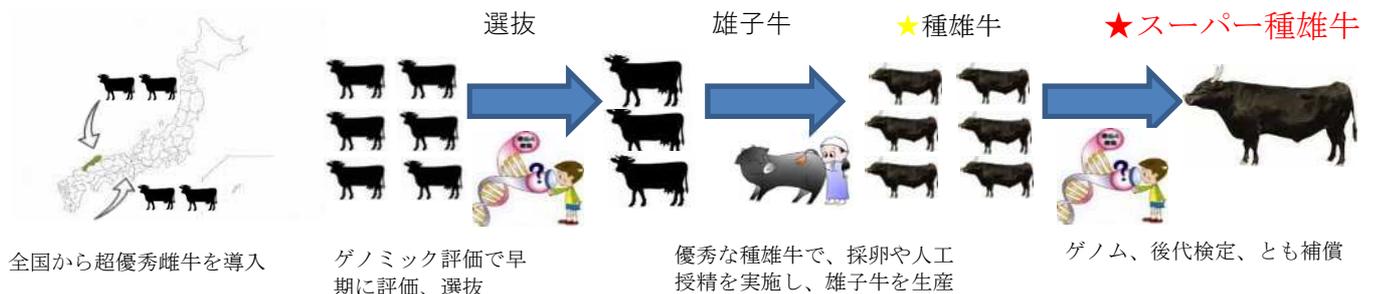
- 1) 能力評価を行う新規種雄牛 4 頭/年
- 2) とも補償制度の充実
 - ①交配推進費：3～6 千円/頭
 - ②交配協力金：新規交配 2 回 20 千円/頭（県 15 千円）
 - ③産子価格補償：子牛販売価格と補償基準価格（市場平均価格－20 千円）との差額を補償 上限 80 千円/頭（県 80 千円）
※②、③合計で、子牛販売価格と市場平均価格との差額最大 10 万円/頭補償
 - ④肥育牛価格補償：100 千円/頭

(3) ゲノミック評価を活用した超高能力雌牛の選抜・・・10,240 千円

種雄牛の母となる超優秀雌牛を短期間で効率的に選抜する。（860 頭）

- 1) 超優秀雌牛の選抜 160 頭
- 2) 更新・保留する雌牛等の選抜支援
 - ①事業主体：JA 等、②頭数 700 頭、③補助率 10 千円/頭（定額）

<種雄牛造成イメージ> 県内外を問わず、優良遺伝子を活用してスーパー種雄牛を早期に造成



3 R6年度予算額

41,786 千円（事業期間 R 2～6 年度）